

社会福祉士実習における受け入れ態勢として

社会福祉法人福角会

放課後等デイサービスみらい

事業所の行事等に参加する場合は、以後の日程を繰り下げ、15日目までで調整を行う。

「①個別支援計画の理解→②個別支援会議に出席→③利用者の決定→④自身の中で再度利用者像を認識→⑤自分なりの個別支援計画を作成→⑥個別支援計画の発表→⑦会議での意見を踏まえ修正→⑧実施→⑨モニタリング⇒⑩修正」という手順をとる」

下記のながれの赤字は実習指導者による講義形式をとります。講義の内容はそれ以後の自主的な動きに連動しています
 下記のながれの青字は実習対象者による自主的な動きになります。事業所のパソコン・テキストの使用。記録類の閲覧等を行いつつ、課題を実践していく形となります。

実習13日目、22日目に個別支援会議の運営があります。1週目と2週目の個別支援会議を参考に、どうすすめていくかをイメージしておきましょう。

目的：職場実習 レジデンシャルソーシャルワーク（施設内におけるソーシャルワーカーの役割）を考える レジデンシャルソーシャルワークとは 社会福祉士としての職業倫理、施設の就業等に関する規定への理解 事業所の経営やサービス管理運営の実態 事業所が地域社会の中で担っている役割の理解と、事業所が地域社会に対して如何に働きかけていくべきかを探っていく 利用者理解とその需要の把握、個別支援計画の理解										
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1日目		施設概要	休憩	放課後等デイサービス	利用者理解					地域の放課後等デイの数・各放課後等デイの特色を調べる⇒地域の福祉資源理解
		講義		について（自主⇒確認）	支援・送迎に同乗					
2日目		記録	契約書	休憩	放課後等デイサービスの課題	利用者理解				放課後等デイサービスを取り巻く課題の抽出 ガイドラインの理解
		整理	講義		の課題（自主⇒確認）	支援・送迎に同乗				
3日目		記録	事業計画	休憩	利用者理解	質疑	記録			運転手・保育士の動き理解（他職種理解）
		整理	計画		みなら特別支援学校に同乗	応答	整理			
4日目		個別支援計画	休憩	個別支援会議の準備	利用者理解	記録				作業療法参加（他職種理解）
		講義		プロフィール表・記録の閲覧	支援に参加	整理				別日に移動の可能性あり
5日目		対象者	個別支援会議	休憩	質疑	卒業後の進路	利用者理解	記録		対象利用者の希望（案）を確認
		確認			応答	（自主⇒確認）	支援に参加	整理		学校卒業後の進路についての理解

利用者理解とは 実際の現場に入り、職員の支援を見ながら、障がいの理解や利用者の様子を確認することで

また送迎等に同乗し、放課後等デイサービスの一日のながれを理解していきます。

1週目の個別支援会議の見学は、事業所の勤務体制により日が前後することがあります。

目的：職種実習 ・地域における施設の役割の理解（在宅サービスとの連携等） ・個別支援会議への理解・体験										
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
6日目		利用者中心の支援	休憩		個別支援会議の準備			利用者理解	記録	
		講義			プロフィール表・記録の閲覧			支援に参加	整理	
7日目		予備	個別支援会議	休憩	アセスメントシートを理解			利用者理解	記録	6日目までの利用者理解を通じ、アセスメント表に盛り込む項目を考える
					アセスメント（仮）の作成			支援に参加	整理	
8日目		利用者決定		休憩	施設見学			利用者理解	記録	事業所見学（前後する可能性あり）
					成人施設等			支援に参加	整理	生活介護事業所・グループホーム
9日目		行動障がい	休憩		アセスメント作成			利用者理解	記録	利用者理解の場面でアセスメントが正しいかの確認を実施
		講義			サービス利用計画・記録の閲覧			支援に参加	整理	
10日目		アセスメント修正	休憩		中期反省会	在宅		利用者理解	記録	中期反省会で現在の進展を確認
		記録の閲覧				講義		支援に参加	整理	

2週目のポイントとして、地域の中で福祉施設がどのような役割を担っているか、いわゆるレジデンショナルソーシャルワークとフィールドソーシャルワークとの違い、また連携を中心に学んでいきます。

また個別支援会議に臨席し、会議の流れや個別支援計画というものの理解を育むとともに、実際に自身が個別支援計画を作成する利用者の決定、またその利用者に対しての理解を深めていくことを目指します。

放課後等デイサービスというサービスの特性上、日々来る利用者さんは異なります

個別支援計画を作成する上で、下記の備考からどの利用者さんを選択するかを考えます

	月	火	水	木	金	備考
Tさん	○	○	○	○	○	利用者を以下のパターンから選択 ① Tさん ② Yさん + Mさん ③ Yさん + Sさん
Mさん		○		○		
Sさん	○		○	○		

目的：ソーシャルワーク実習（3週目以降） サービス管理者の業務についての理解（リスクマネジメント・事故報告・虐待事例等の分析） モニタリング・個別支援計画作成、修正 個別支援計画の実践										
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
11日目		モニタリング作成	休憩		利用者理解 支援・送迎に同乗				記録 整理	モニタリング時不明な点は適時確認し つつ進める
12日目		個別支援計画作成	休憩		利用者理解 支援・送迎に同乗				記録 整理	個別支援計画作成時不明な点は適時確 認しつつ進める
13日目		予備 個別支 援会議	休憩	モニタリング・個別支援計画修正		利用者理解 支援に参加			記録 整理	
14日目		会議録作成	休憩		個別支援計画実践①				記録 整理	
15日目		リスク① 講義	休憩		個別支援計画実践②				記録 整理	リスクマネジメントの基本的な考え方 を学ぶ

目的：ソーシャルワーク実習（3週目以降） サービス管理者の業務についての理解（リスクマネジメント・事故報告・虐待事例等の分析） モニタリング・個別支援計画作成、修正 個別支援計画の実践										
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
16日目		リスク② 講義	休憩		個別支援計画実践③				記録 整理	リスクマネジメントの具体的な対応策 を学ぶ
17日目		実践振り返り	休憩		個別支援計画実践④				記録 整理	実践①～③の実践の結果をまとめる 助言をもとに実践④以降につなげる
18日目		リスク例題	休憩		個別支援計画実践⑤				記録 整理	リスク例題については、例題の対応方法 について自身で考察を行う
19日目		実践振り返り	休憩		個別支援計画実践⑥				記録 整理	実践①～⑥の実践の結果をまとめる 助言をもとに実践⑥⑦、モニタリングへ
20日目		虐待・苦情等 講義	休憩		個別支援計画実践⑦				記録 整理	虐待防止への取り組み、苦情受付等に ついて学ぶ

事故報告、リスクマネジメントについては、概要の説明と共に、具体的な事例をケース案として討議する。

権利擁護、虐待等については、概要の説明と施設における事例より、虐待等に該当するかも具体的に討議していく。

目的：ソーシャルワーク実習（3週目以降）

サービス管理者の業務についての理解（リスクマネジメント・事故報告・虐待事例等の分析）

モニタリング・個別支援計画作成、修正 個別支援計画の実践

	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
21日目		モニタリング作成	休憩		モニタリング・次期個別支援計画作成				記録 整理	
22日目		予備 個別支援会議	休憩		質疑・応答		ヒヤリハット報告作成		記録 整理	実習中にあったヒヤリハット事例をもとに対処策を考える
23日目		実習反省会 質疑応答	休憩			記録 整理		予備		